

工業倶楽部

KAGOSHIMA INDUSTRIAL CLUB

発行／（公社）鹿児島県工業倶楽部 企画・編集／総務・広報委員会 〒892-0821 鹿児島市名山町9-1県産業会館内
TEL099-225-8012 FAX099-225-8020 <http://www.ikic.or.jp> E-mail : info@ikic.or.jp



平成26年 公益社団法人鹿児島県工業倶楽部新年大会

事務局からのお知らせ

新会員情報

会員企業広告「かこい特許商標事務所」「株式会社コレクトプラン」



平成
26年

公益社団法人

鹿児島県工業倶楽部

新年大会



◆ 会長挨拶 ◆

(公社)鹿児島県工業倶楽部
会長 岩元 正孝

公益社団法人鹿児島県工業倶楽部の岩元でございます。

大変長い間デフレに沈んでおりました日本経済も、これから春に向かうのでしょうか。日本銀行の短観、中小企業の景気判断指数BSIは、実は2006年の第2四半期からずっと水面下にありましたが、今年になりましてから水面の上に上がりました。

中小企業の皆さんは、実に長き間に亘って、先行きについて、大変厳しい見方をしていましたが、そこからようやく抜け出すのが可能な状況になってきたと思います。

周りの、企業の方に景況感を聞きますと、ほとんどの原材料が輸入品なので、調達価格が上がっているが、販売価格に転嫁できなくて短期的には苦しいと言っているのが現状です。

また、年明けからの為替相場、株式相場は大変乱高下しており、中々一本道で景気が回復するという事は言えないような、多事多難な一年になるのかもしれないなと思います。

また、鹿児島県の工業の方をみても、景気は良くなっていくようですけれど、中々過去の景気の後退局面を相変わらず

引きずっているというのが現状じゃなかろうかと思います。

今月10日に、行政機関・大学・マスコミに年始のあいさつ回りをしました。その時出たのが、「アベノミクスどうですか」、「いやいや、地方はまだまだです。」というやりとりとなりましたが、「じゃあ一体、どうすれば、どうなればいいんですか」と聞かれました。

行き着いたところが、結局ここにいらっしゃる皆さんの企業が競争力を付けて強くなる、という事をしなければ、どうにもならないんだらうなと思いました。

競争力という意味においては、国内の同業他社ではなく、国際的に見たところで、強くならなければいけないというのが現状だろうと思います。

本日は、後ほど小原先生の「薄膜技術の繊維素材への応用」、前田先生の「光合成細菌の農業分野への有効利用」、中野先生の「水産資源の食品・畜産分野等への利用」の発表をしていただきます。またその後、東洋紡株式会社の坂元龍三代表取締役社長様から、「素材力でイノベーション・技術と市場をむすぶ」と題して講演をしていただきます。

まさにこういった活動を通して、それぞれの企業の競争力を強くしていくという事が、これから生き延びていく大事なポイントじゃないかと考えております。

是非この後のプログラムが、皆様のお役に立ち、皆様の企業力が強化出来ますことを祈念いたしまして、冒頭のご挨拶と致します。



◆ 来賓挨拶 ◆

鹿児島県商工労働水産部
部長 田中 和彦氏

本日、公益社団法人鹿児島県工業倶楽部の新年大会が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

工業倶楽部会員の方々をはじめ、本日御出席の皆様には、かねてから本県の産業振興に多大な貢献をいただいておりますことに深く敬意を表しますとともに、県政の推進に対する格別のご支援・ご協力に心から敬意を表します。皆様には、かねてから会員の方々の異業種交流のほか、昨年は、「食と健康に関するシンポジウム」の開催、更には、この後ご報告いただく異業種・産学官の交流・連携に

より新製品開発を促進する「ものづくり企業元気おこし交流事業」に取り組んで頂くなど、多方面にわたり活躍された1年であったと思っております。

最近の経済情勢は、アベノミクスに基づく大胆な経済政策により一定の成果も得られておりますが、県内経済への波及には今しばらく時間を要するものと考えております。また、本県では、むしろ好況時に対全国比で経済格差が拡大する傾向にあることから、その点も注意深く見守っていききたいと思います。

こうした中、県は、「中小企業の振興に関するかごしま県民条例」や「かごしま製造業振興方針」に基づき、本県の特長や発展可能性を最大限に生かしながら、産業おこしの推進による雇用創出などのテーマに取り組んでまいりたいと考えておりますので、今後とも皆様のご支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。



◆来賓挨拶◆

国立大学法人鹿児島大学
学長 前田 芳實 氏

ただいまご紹介をいただきました鹿児島大学長の前田でございます。

鹿児島県工業倶楽部と鹿児島大学の協力関係は深く、特に平成17年10月に包括連携協力協定を締結してから、産学交流企画の実施と学生支援で連携を深めさせていただいていることに深く感謝申し上げます。昨年11月には「進化する鹿児島の食材」シンポジウムを共同で開催いたしました。これは工業倶楽部の20周年記念事業としてスタートした「食と健康に関するシンポジウム」の第3回目、本学の重点領域研究である「食と健康プロジェクト」の事業でもあります。例年本学の教員も講師として参加し、好評を博しており、今回は約250名の方にご来場いただき大盛会でした。また、この後、報告が行われる異業種交流会

にも本学の2名の教員が座長として参加し、会員の皆さまとともに、研究を新しいものづくりの契機とする議論を深めているところです。学生支援においては、例年、優秀な研究業績を挙げた大学院生に授与される「鹿児島大学工業倶楽部賞」が、学生への大きな励みとなっております。

昨年暮れに、文部科学省より大学改革プランが公表され、鹿児島大学は、グローバル化、イノベーション創出、それから社会の変革に対応出来る人材の養成などの観点から、教育研究組織の再構築の作業に今入ったところです。これからは大学と産業界がこれまで以上に連携して、大学教育の新たなシステムを作り、組み立てることが必要であると考えております。

鹿児島大学は、地域に開かれた大学として、大学の教育研究や知的資源を地域の発展に結びつけることで、鹿児島県の活性化に尽力して行きたいと考えており、共同研究や講演会だけでなく、様々なご相談や分析機器のご利用など、鹿児島大学をどうぞお気軽にご活用ください。産学官連携推進センターを中心に、体制を整えてお待ちしております。

「ものづくり企業元気おこし交流事業」の 異業種交流会における検討結果報告

新年大会において、会員、非会員、行政機関等多数参加いただいた異業種交流会で取り組んだ3テーマの検討結果の報告を行いました。

小原幸三教授、前田広人教授、中野隆之教授の3名の先生方には、8月からの半年足らずという短い期間の中で、精力的に各テーマに取り組んでいただきました。

テーマ1

ナノサイエンスを用いた電子
エネルギー制御による原子改質技術
～薄膜技術の繊維素材への応用～

座長：鹿児島大学大学院 理工学研究科
小原 幸三 教授



テーマ2

バイオビジネスにおける
善玉菌と悪玉菌

～光合成細菌の農業分野への有効利用～
座長：鹿児島大学水産学部 食品・資源利用学分野
前田 広人 教授



テーマ3

生物未利用資源の活用技術

～水産資源の食品・畜産分野等への利用～

座長：鹿児島純心女子大学
看護栄養学部健康栄養学科
中野 隆之 教授



新年大会 講演

祖業として成長を支えてきた繊維事業を大胆に縮小し、代わりにフィルムや樹脂、ライフサイエンスといった非繊維事業への転換を自ら進めた実体験に基づく、「停滞は悪、挑戦は善」という理念での貴重な講演をしていただきました。



演題

素材力でイノベーション
ー技術と市場をむすぶー

講師

東洋紡株式会社
代表取締役社長 坂 元 龍 三 氏

・鹿児島県鹿屋市出身
・2005年6月から現職に就任、現在に至る

【講演内容】

☆東洋紡の会社概要

- ・創業131周年 東洋紡績から東洋紡へ
- ・集中的な事業転換の時代
- ・東洋紡の高機能（スペシャルティ）商品群
- ・東洋「紡」が「フィルム」？
- ・コア技術をベースに事業を創出
- ・素材が製品、システムを変える（時代の求める製品あり）

☆東洋紡の歴史観

- ・創立131周年 変革の歴史（東洋紡の構造改革と成長戦略）
 - ・第一変革期 1945～1970年
天然繊維から化繊への展開
 - ・第二変革期 1971～1989年
ニクソンショックからバブル崩壊直前
 - ・第三変革期 2009～
新成長ステージへ：変化をとらえ自ら変わる
- お客様の变化
ライバルの変化
社会の変化
- 東洋紡も「変わる」
停滞は悪、挑戦は善

☆変革の中から得た経営の知恵

- ・QA体系、技術を市場につなぐ
 - ・QA体系は事業の一番の骨格、ビジネスモデルそのもの（東洋紡流に体系化）
 - ・技術が優れているだけでは事業化できない
 - ・成長エンジン（市場につなぎQAを回転させる）
- ☆東洋紡社
・順理則裕（理に従えばすなわち裕なり）

事務局からのお知らせ

1. 第60回ベンチャープラザ鹿児島「二水会」の開催

- 今回は、ビジネスプラン発表と第60回を記念しての特別講演があります。
- 平成26年2月12日（水）14:30～19:30 ※通常より30分早い開始です。
 - 鹿児島 東急イン（鹿児島市中央町5-1 TEL 099-256-0109）
 - ・ビジネスプラン発表（県内2社、県外1社）
 - ・交流会（情報交換・名刺交換等）
 - ・参加費 3,000円
- 【問合せ先】かごしま産業支援センター（TEL 099-219-1272）

2. JICA青年研修（経済行政・産業振興コース）/ インド研修団との意見交換会実施

平成25年12月10日（火）、来鹿中のインド研修団（中央政府職員17名）と工業倶楽部貿易部会員との意見交換会を実施。インド側の経済情勢のプレゼンを受け、活発な意見交換がなされました。



【出席会員】

横山勝一副会長、松下謙一貿易部長、弓場秋信、岡 秀実、竹田靖史、黒木樹朗、上田平美嗣、油原ゆう子（敬称略）

3. ものづくり企業元気おこし交流事業の先進地研修実施

平成25年10月22日（火）～23日（水）の日程で、熊本市内の生産技術開発協同組合（産業用機器開発関連企業組合）との意見交換・視察と熊本県庁で人気ゆるキャラ「くまモン」の開発秘話及び経済波及効果等について研修しました。

【出席会員】

岩元正孝会長、桑野正敬副会長、本村嘉啓副会長、松下謙一、森 末義、上田平美嗣、

【会員外】

前田広人教授、中野隆之教授、福元美治、坂口繁明、上籠洋平 事務局（敬称略）



新会員情報

会員名

富永 茂人

所属・役職

鹿児島大学 農学部長

- 住 所 〒890-0065 鹿児島市郡元1-21-24
(鹿児島大学農学部)
- T E L 099-285-8500
- F A X 099-285-8572



鹿児島県工業倶楽部の個人会員として入会を許可していただき、ありがとうございます。

昭和58（1983）年4月に鹿児島大学農学部へ赴任し、現在、農学部長を務めさせていただいています。

専門は果樹園芸です。果樹農家出身で、大学ではカンキツ類や亜熱帯果樹の栽培生理に関する研究・教育を担当しており、果樹以外にも、農業全般や島嶼農業の教育指導を行っています。日本有数の食料生産基地であり、多くの離島を抱える鹿児島県の地域農業に貢献したいと考えています。微力ですが、頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

会員名

木村 郁夫

所属・役職

鹿児島大学
学長補佐（社会貢献担当）
水産学部教授

- 住 所 〒890-0056 鹿児島市下荒田4-50-20
- T E L 099-286-4210
- F A X 099-286-4210



鹿児島大学へ赴任して5年となります。その間、鹿児島大学の重点研究領域である「食と健康」に関するプロジェクト推進の一環として、鹿児島県工業倶楽部様と「食と健康」に関するシンポジウムを共催してきました。今年度のシンポジウム「進化するかごしまの食材」も大盛況でした。

この度、鹿児島県工業倶楽部の個人会員として参加させていただくことになりました。どうぞ、よろしくお願いいたします。

【大学案内】

鹿児島大学は、地域に貢献する総合大学として活動を進めております。私の所属している水産学部を擁している大学は日本の中でも限られており、2隻の練習船が活動するなど鹿児島大学の特徴のひとつとなっております。水産学部は鹿児島地域とアジア圏を中心に水産や水圏生物・環境に関する研究・教育および社会貢献活動を進めております。私は水産物の加工に関する研究を行っておりますので、ご相談等ございましたら連絡ください。

watch the design,
touch the design,
and feel the design
at the KAGOSHIMA DESIGN FAIR 2014

商品開発やマーケティングのヒント、
生活の知恵や創造など独創的なデザインが見つかる3日間。
観る、触れる、感じるデザイン。

かごしまデザインフェア2014 デザイン百覧会

と き 2014年2月21日（金）▶23日（日）

10:00am～6:00pm [最終日5:00pm]

ところ ●かごしま県民交流センター 2階大ホール 他

■デザイン百覧会の詳細を随時アップします。

www.kagoshimada.comをご覧ください。

●併催イベント

デザイン・意匠・商標分野における知財活用セミナー

講演1 ●「九州ちくご元気計画…デザインの力が状況をを変える…」
フタバ株式会社 代表取締役 江 副 直 樹氏

講演2 ●「デザイン・ブランドに関する意匠・商標制度について」

特許庁総務部普及支援課 意匠審査官 山 永 滋氏

と き ■平成26年2月21日（金）午後1時30分～午後4時30分

ところ ■かごしま県民交流センター 3階 大研修室第1

定 員 ■100名 / 入場無料

このセミナーに関するお問合せ先 ■株式会社デコレ / Tel.0949-24-8832

鹿児島県商工労働水産部産業立地課 / Tel.099-286-2965

～生まれる発明 育てる弁理士～

かこい特許商標事務所

かこい特許商標事務所は、特許、実用新案、意匠、商標などの知的財産権に関する業務を承る専門事務所です。

知的財産権に関することなら、鹿児島県内最古の歴史と実績を持つ弊所にご用命ください。

随時、ご相談をお受けしています(予約制)。
相談には、元特許庁 審査官・審判官の経験者である
弁理士が誠心誠意対応致しますので、お気軽にご連絡ください。

・業務内容

- ・特許・実用新案・意匠・商標の出願～権利取得
- ・調査・鑑定・判定・異議・審判・権利侵害対策・各種契約の代理
- ・知的財産権に関する相談・コンサルティング

〒890-0051
鹿児島市高麗町 29-15
かこい特許ビル
TEL: 099-256-7740
FAX: 099-256-7761
[Http://homepage2.nifty.com/kpto/](http://homepage2.nifty.com/kpto/)

所長	弁理士	梶	生長
顧問	弁理士	村田	幸雄
相談役	弁理士	平井	安雄



おくやみ情報をインターネットで無料閲覧できます。

経済産業省 小規模事業者活性化補助金事業

おくやみ情報を必要としている方や、訃報連絡にお困りのご遺族様にインターネットを通じて、広く迅速に情報を発信するサービスを提供しています

お悔やみ情報に関する、こんなお悩みを感じたことはありませんか？

- ・どの人に知らせればいいのかしら・・・
- ・今までのお悔やみ広告はお金が掛かりそう
- ・お通夜の情報は広告掲載に間に合わないかも



- ・訃報の知らせが自分までまわってこなかった
- ・新聞をとってないから訃報広告は見れないよ
- ・県外に住んでいて地元の知人の訃報を後になって聞いた・・・

そんなときは「おくやみ情報鹿児島」にお任せください

鹿児島県のお悔やみ情報を一覧ページと、詳細ページで表示します。

全国発信

パソコン、携帯電話などのモバイル端末があれば、いつでもどこでもおくやみ情報が入手できます。

閲覧無料

無料で全ての情報を閲覧できます。
掲載も基本無料ですが、喪主・ご遺族のお名前を掲載する場合のみ千円（参考価格）から。

簡単迅速

インターネット経由で簡単に掲載する事ができます。パソコン等が苦手な方は葬儀社様へご相談下さい。
また、葬儀情報が必要ない「おくやみ欄」掲載に関しては、市町村（鹿児島市は葬儀社）経由で死亡届け提出による掲載も可能です。
登録完了し入力情報の確認ができ次第掲載されます。
運営事務局で登録掲載する場合は1時間以内での掲載を目標としております。

経済産業省
平成25年度 小規模事業者活性化補助金事業



おくやみ情報鹿児島

<http://okuyami.or.jp/kagoshima/>

鹿児島のお悔やみ情報をお探しの方は

[おくやみ情報鹿児島](#)

[検索](#)

携帯サイトはこちら



鹿児島発 うまいものサイト

くろぶた.ねっと



<http://www.kurobuta.net/>



畜産が盛んな鹿児島で育った美味しい鹿児島産の黒豚を中心とした食品を、全国にお届けしている通販サイトです。

県産品専門のショッピングサイト

ここよか.ねっと



<http://www.kokoyoka.net/>



鹿児島産の美味しい食材を全国の食卓へお届けする鹿児島県産品専門のショッピングモールです。

運営：株式会社コレクトプラン

鹿児島市名山町 9-15 ソフトプラザかごしま 5F

Tel：099-219-1940

Fax：099-833-3060

E-mail：ad@correctplan.com